



- ㊦ 笑顔あふれる子どもに
- ㊧ 美しくきれいな子どもに
- ㊨ 進んで学び働く子どもに

令和5年6月16日

北九州市立若松中央小学校

校長 野口 友加



心一つにして頑張った音楽会

6月9日、三年ぶりに全校児童が集まったの音楽会を行いました。翌10日には保護者の皆様に子ども達の学習の成果を発表できる場が設けられたことに喜びを感じた次第です。

1年生のかわいらしい挨拶で音楽会が始まりました。入学した頃より成長した姿に温かい気持ちになりました。

4年生の力強い「五和サムル」の演奏が始まり、会場は一変、きりっとしたムードに包まれました。5年生、6年生は自然とリズムを打つ仕草になっていました。若松中央小の文化の継承です。



【4年】

【1年】



1年生にとっては初めての音楽会です。元気いっぱいに歌う姿に、子ども達が楽しく学んでいる様子を感じることができました。体全体でリズムを取って歌う様子に、会場全体が1年生と一緒に音楽を楽しむことができました。

2年生の鍵盤ハーモニカの演奏は、ピアノの伴奏に合わせて、なめらかに演奏することができました。また、たくさんの楽器を使って、楽器の音を楽しませてくれる発表でした。



【2年】

練習が始まったばかりの頃は音がそろわず苦労しましたが、本番では心を一つにすることができました。

【5年】



後半に入り、5年生の発表では、音楽の学習が多岐にわたることを教えてもらいました。「ソーラン節」の発表では、民謡の学習をし、「ソーラン節」がどのようなことがきっかけで作られた曲なのかを学び、歌詞や曲に込められた北海道の人達の思いを受け、力強く踊りと歌を披露しました。踊りの様子から、ニシンが大量に取れ、漁師が網を力強く引いている様子が伝わってきました。

後半に入り、5年生の発表では、音楽の学習が多岐にわたることを教えてもらいました。「ソーラン節」の発表では、民謡の学習をし、「ソーラン節」がどのようなことがきっかけで作られた曲なのかを学

【3年】



最後は6年生の演奏。さすが最上級生です。2週間という短い練習期間にも関わらず、素晴らしい演奏でした。

「Rock Trap」のボディパーカッションと「ラバーズコンチェルト」、どちらも個人の練習が必要です。しかしながら、二週間の間にしっかりと練習をし、全体で演奏した6年生の努力と信念に胸を打たれました。

【6年】



いただいた先生方に感謝します。練習期間では様々なことがあったと思います。それも含めて成長した子ども達の姿を感じた音楽会でした。保護者の皆様、お忙しい中、音楽会をご覧いただき、ありがとうございました。

この2週間、校長室から子ども達の練習を聞き、日々成長している様子を感じていました。子ども達の頑張りのもとより、音楽会に向けて、熱心に指導してい